



広報

とね

茨城県北相馬郡利根町役場

昭和54年7月20日発行

No. 184



# 待望の産業道路

## いよいよ全面開通

利根町の横断道路として、昭和四十七年度に着工した産業道路が完成し、いよいよ全面開通の運びとなりましたので、広く町民の皆さまにお知らせいたします。

○総事業費

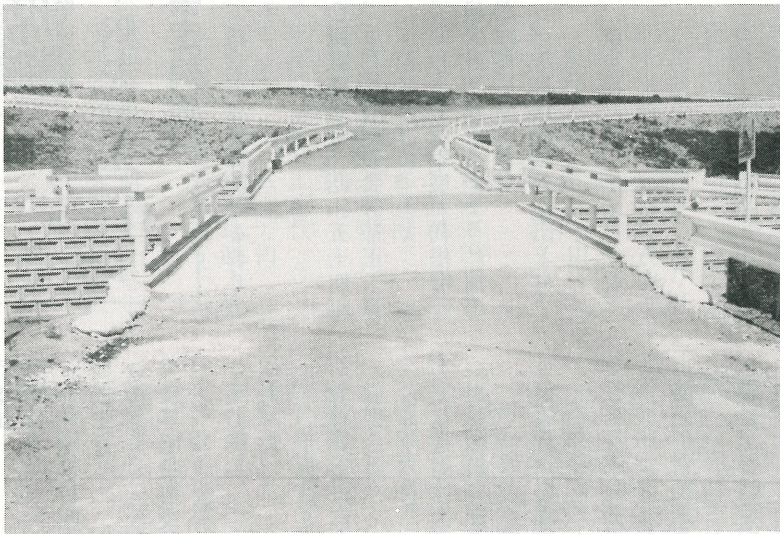
三億四千一百三十五万三千円

○工事費

二億五千一百八十四万四千円

○国補四千万円

(国補四千万円)



▲長い間の懸案だった小貝川堤防の取付道路もりっぱに完成いたしました。(6月22日撮影)



▲産業道路の終点は縮切橋で、北河原、立崎、大房方面へ通じています。

- 用地費及び調査費 九千十六万九千円
- 総延長 五、七〇六 m
- 有効車道幅員 五・五 m 以上
- 自転車歩行道延長 一、三〇〇 m
- 右同幅員
- 区間 二・〇～二・五 m
- 羽根野～横須賀～立木～立崎(縮切橋)
- 設計速度 三〇 km (カーブ等の為)
- (注意) 新しい道路の場合自動車等は、とかくスピードをだす恐れがありますのでその点ご注意ください。



# 三千六百八万二千円を補正

## 【第二回利根町議会定例会】

昭和五十四年第二回利根町議会定例会は、六月二十日から同二十三日まで、四日間の会期で開かれ、昭和五十四年度利根町一般会計補正予算(第二号)等、町長から提出された十一件の議案と請願一件が審議されました。

その結果、議案は十一件ともすべて原案どおり可決(認定)され、請願一件については、産業建設委員会に付託されました。

また、二十一日には、通告制による一般質問も行なわれましたが、今回は、改選後初の定例会とあって、十人の議員が教育問題をはじめ、商工振興対策、下水道工事問題、農政問題、非常勤消防団の運営について等々活発な質問を行い、町長はじめ、関係主管課長がそれぞれ答弁いたしました。

ちなみにこの日は、十人前後の傍聴人が一日中熱心に耳を傾けている風景が見受けられました。

### 54年度 一般会計

- ◎歳出
- 総務費 一千二百四十五万二千円
- 民生費 三千円
- 衛生費 一百二万一千円
- 農林水産業費 一百六十一万二千円
- 商工費 四万三千円
- 土木費 一千五百二十八万九千円
- 教育費五百六十六万二千円

#### 歳出合計

三千六百八万二千円

主な歳出は次のとおりです。

- 退職職員に伴う特別負担金 六十万円
- 役場駐車場埋立工事費 一百三十七万円
- 役場駐車場柵渠工事費 二百五十万円
- 防犯灯新設工事費 三十万円
- 登退庁表示器及び庁舎内案内板 五十六万五千円
- エアコン代四十六万七千円
- 歯科診療施設土地建物賃借料 四十五万五千円
- 農薬代 八十六万七千円
- 地籍調査登記委託料 六十万円
- 町道五〇八号線(役場前)防護岸工事費 一百一十五万円
- 町道十一号線(立木飯塚宅)道路敷拡幅工事に伴う家屋解体工事費 八十三万円
- 町道十六号線(立木宮宿橋)橋梁掛け替工事に伴う水道管移設工事費 六十八万四千円
- 町道三三三号線(大房坂本宅脇)柵渠工事代 八十三万四千円
- 町道八号線(米元宅前)道路改良工事費 三百二十万円
- 町道十一号線(立木十字路)舗装新設工事費 三十万円
- 農道橋(羽根野)試験杭打 一百万円
- 町道二四号(惣新田)函橋工事代 二十万五千円
- 都市計画図作成委託料 二十万五千円



▲ 第2回利根町議会定例会 (6月20日、役場会議室)

○保全区域内盛土工事代(公園費) 二百五万円  
 ○市街化区域整備計画委託料 一百万円

○布川小焼却炉工事代 四十五万円

○布川小プール建設工事費 △一百八十八万円

○布川小さく井工事給排水電気設備接続工事代 一百五十六万五千円

○文小プール杭打補正工事代 一百四十五万二千円

○文小プール建設工事費 △三十九万五千円

○眼で見る町史 九十万円

○郷土史印刷代 二百五十万円

○議案第二号 昭和五十四年度利根町国民健康保険特別会計予算(第一号)について

昭和五十四年度利根町国民健康保険特別会計予算が次のように補正されました。

事業勘定追加補正額歳入歳出ともそれぞれ 十一万二千円

既定額

三億二千八百十五万八千円

合計

三億二千八百二十七万円  
 なお、この補正予算の歳入

については、前年度繰越金であり、歳出については、保険税還付金です。

○議案第三号 昭和五十四年度利根町下水道事業特別会計補正予算(第一号)について

昭和五十四年度利根町下水道事業特別会計予算が次のように補正されました。

減額補正額歳入歳出とも △四十六万二千三百円

既定額 三億九千五百四十四万円

合計 三億四千九百四十一万七千円

主な歳出は次のとおりです。

○認可設計委託料 五百十万円

○ポンプ場設計委託料 △一千二百万円

○下水道管布設工事代 △五千万円

○水道管切廻し工事代 八十万円

○下水道ポンプ場用地購入費 九百六十九万五千円

○議案第四号 昭和五十三年度利根町水道事業会計歳入歳出決算認定について

この件については、地方公営企業法第三十条の規定によ

り審査を遂げたところ、収支共に正確にして規定に違背したる点なく、かつその計算は帳簿ならびに証書類と照合してすべて正当なるものと認めるといふ玉村慶氏、桑原芳雄氏(利根町監査委員)の報告があり、提出された決算報告書のとおり認定されました。

○議案第五号 利根町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

この件は納税協力員の報酬を条例化したもので、その額については次のとおりです。

○納税協力員(年額) 基本給 九〇〇〇円 戸数割 四〇〇円、

この条例は公布の日から施行し、昭和五十四年四月一日から適用する。

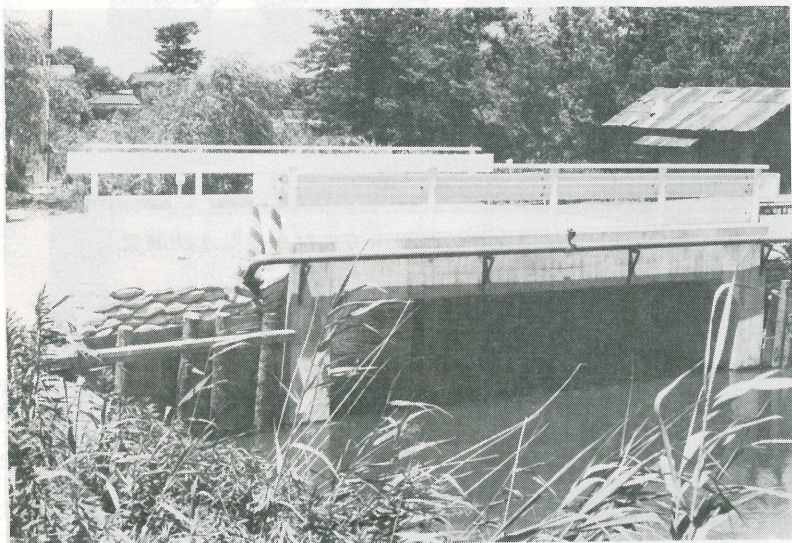
○議案第六号 利根町職員の旅費に関する条例の一部改正について

この件は、国家公務員についての改正に準じて行なわれたもので、同条例及び規則の一部が次のように改正されました。

特別急行列車の特急料金を支給する範囲が「三〇〇キロメートル」から「一〇〇キロ

メートル」に、普通急行列車及び準急行列車の急行料金を支給する範囲が、「一〇〇キロメートル」から「五〇キロメートル」に改められました。

また、同規則の茨城県自治研修所に宿泊した場合の日額旅費が、一夜につき「二四五〇円」から「二七〇〇円」に改められました。



▲長い間ご迷惑をおかけしましたが、6月1日立木宮宿橋が、写真のようにりっぱに完成いたしました。

施行する。

○議案第七号 利根町振興計画審議会条例の一部改正について

この件は、昭和五十三年六月一日から新たに企画財政課が新設されたため、本条例第六条中「開発課」を「企画財政課」に改めたものです。

この条例は公布の日から施行し、昭和五十四年四月一日から適用する。

○**議案第八号** 利根町都市計画審議会条例の一部改正について、同条例の一部が次のように改正されました。

第三条第二項中「町議会の議員四人以内」を、「町議会の議員五人以内」に改められました。

この条例は、公布の日から施行し、昭和五十四年四月一日から適用する。

○**議案第九号** 利根町国民健康保険条例の一部改正について

この件は、国民健康保険税の最高限度額が「十九万円」から「二十二万円」に引き上げられたほか、軽減世帯の基準額が「十六万円」から「十六万五千元」に引き上げられたものです。

(施行期日)  
この条例は公布の日から施行する。

(適用区分)

改正後の利根町国民健康保険条例の規定は、昭和五十四年度分の国民健康保険税から適用し、昭和五十三年度分

までの国民健康保険税については、なお従前の例による。

○**議案第十号** 茨城県市町村総合事務組合規約の変更に

ついて、同規約の一部が次のように改正されました。

別表第一第四条第五号に掲げる事務中「土浦市」を削るこの件は、土浦市の非常勤職員の上又は通勤による災害に対する補償事務を、新たに組合において共同処理することになったため、組合規約の一部が改正されたものです。

なお、この規約は茨城県知事の許可のあった日から施行する。

○**議案第十一号** 工事請負契約の変更について

利根町立文小学校プール建設工事の請負契約が次のよう

に変更されました。  
既請負契約金額 五千九百万円  
今回増減(△)額 一百四十五万二千元  
計 六千四百五十二万円

○**請願**について

申渡機場改修に伴う補助金

要望に関する請願

提出者 利根町大字立木三三七〇番地

申渡陸田組合代表者

角田 賢ほか四五名  
紹介議員 角田 利雄  
本谷 昌夫

請願の内容は次のとおりです。

昭和四十三年度、町から若干の補助を得まして陸田揚水機場を設置いたし、当時の米増産に寄与いたしましたので

ありますが、機場使用は現今陸田六〇パーセント、水田四〇パーセントという状態であり、理由をいたしましては、当

申渡地区は明治三十五年に耕地整理が行われたので、水路がはなはだしく狭さくのため一般水田の水流が著しく悪く陸田の漏水を利用してはいる次第です。特に水田植付当時は全面機場に頼っています。



▲ 6月29日、下柳地先の利根川で大がかりな水防演習が行われました。

今回、機場の老朽化のため大改造を行いましたので、町から補助をいただきました。関係者一同連署の上お願いいたします。

この請願は、産業建設委員会に付託されました。

**家出人をさがす相談所**

**開設のお知らせ**

警察では、家出をされて消息のない方のご家族をはじめ関係者皆さま方のご心労におこたえするため、次の予定で「家出人をさがす相談所」を開設することになりました。

○相談開設日 昭和五十四年八月八日、九日の二日間  
午前九時から午後四時まで

○開設場所 土浦警察署

当日おいでになれない方については、休日を除く毎日、県警察本部鑑識課(水戸市三の丸一ノ五ノ三十八、茨城県庁構内電話〇二九二―二四二―二一― 内線二四七四、二四七五)において、専門の係員がご相談に応じております。なお相談は無料ですから、お気軽におでかけください。

☆ ☆ ☆

めでたいニュース

# 昭和54年春の生存者叙勲

◇勲五等双光旭日章

大竹 智海氏 (七〇才)

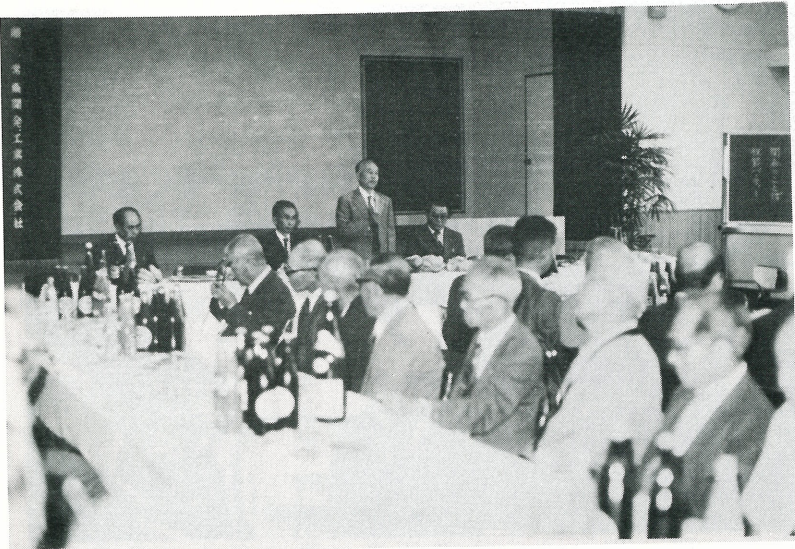
(大字立木一三六八番地)

昭和五十四年度春の生存者叙勲に際し、民生児童委員功労者として、大字立木の大竹智海氏には、勲五等双光旭日

章叙勲の栄に浴されました。

まことに慶賀のいたりに存じます。

ご存じのように大竹氏は、民生委員歴四十有余年、その他保育所の経営や境内を利用したミニゴルフ等、幾多の社



▲ 6月7日大竹氏の叙勲祝賀会が中央公民館で行なわれ、町内から多くの人々が参加して氏の叙勲を祝福いたしました。

会福祉事業にたずさわり、その顕著な功績が認められたもので、これまでに藍綬褒章、紺綬褒章等も受章されており

ます。そこで町では、六月七日午後二時から、中央公民館で祝賀会を開催し、百人余の有志

が参加し、記念品を贈呈いたしました。

なお、大竹氏は、祝賀会の席上、「これからあと十年は生きたいと思う。そして生あるかぎり、社会福祉事業に貢献したい。」とその心境をのべられました。

町民こぞつて祝福と感謝の心を贈りましょう。

## 一家に一冊

### 利根町史

昭和四十六年八月、郷土史編さん委員会発足以来の懸案であった町史三巻のうち、第一巻が編さん委員の皆さんのお骨折りによってつりっぱに発刊されました。

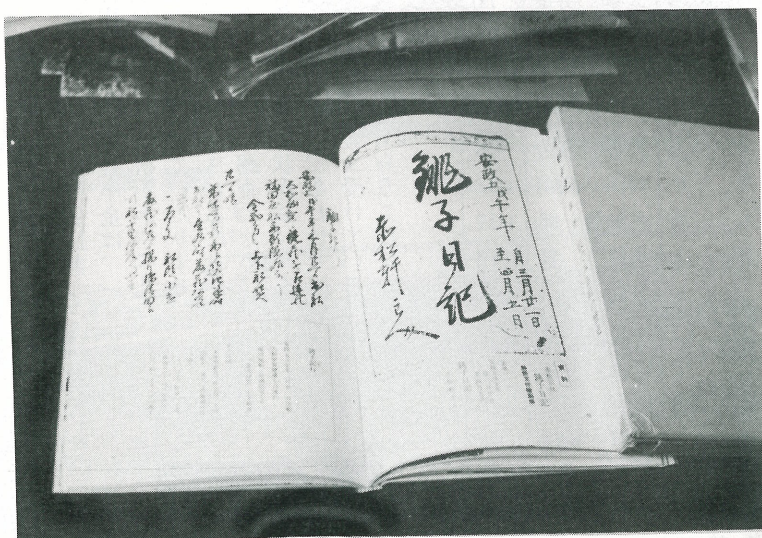
これは、委員各位が、町内外から収集した資料のうちから古代の成り立ち、この地域の様子、近世の事件、往来した文化人等、古文書の写しや写真などをふんだんにとり入れ、どなたにもわかりやすく

解説を付したものです。

頒布価格については、町内にお住いのかたは、一、五〇〇円、町外の者には定価どおり一、八〇〇円です。

また、付録として「利根町小字地図」がついており、この小字地図が、これら小学生からひろく一般にいたるまで、大いに利用できるものと確信しております。

中央公民館では、さきに皆



▲ このほど完成した利根町史「目で見る町の歴史」貴重な写真や古文書の写しがたくさん掲載されています。

さまのご家庭に見本を回覧して、好評のうちにかなりのご講入をお願いしましたが、まだ相当数の残部がございますので、この機会を逃さずご購入くださるようおすすめています。

申し込み先きは次のとおりです。

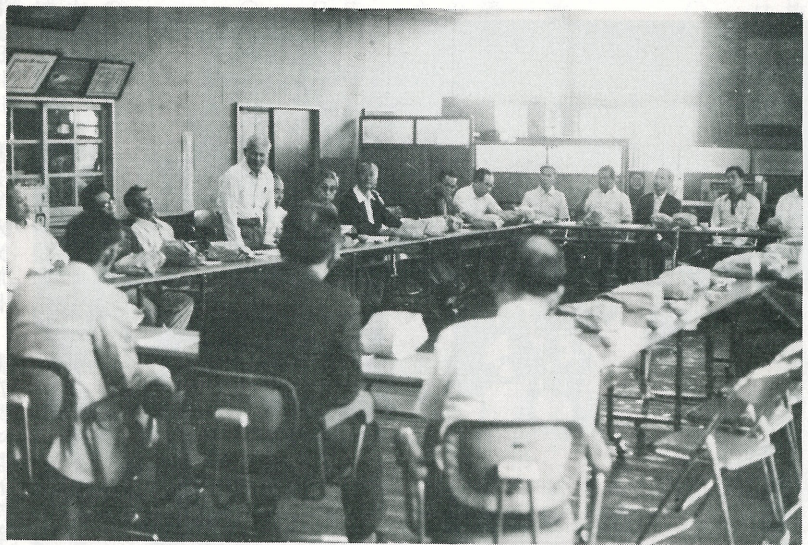
中央公民館 電話三二六三  
総務課広報係電話二二一一

内線三八

区長名簿一覧表

文地区

部落名	区長名	戸数
早尾	海老原 亮	45
大平	五十嵐一郎	10
横須賀	岩井 米吉	74
羽根野	市川 正行	58
上曾根	木村 松平	58
下曾根	渡辺 和司	19
下井	河村 一男	17
押付新田	岡野 三郎	53
中田切	木村 功	43
羽根野台	滝 克利	255
早尾台	野口 昌利	174



▲ 6月13日開催された区長会総会

布川地区

押付本田	深山 一郎	20
内宿	鈴木 正	110
浜宿	五代 一男	38
馬場	矢口 寿男	185
谷原	吉岡 武男	32
三番割	吉田 勉	8
中宿	玉村 明	68
上柳宿	辻内利兵衛	67
下柳宿	今井 松代	57
布川台	鈴木 吉	93
白鷺の街	加藤 清信	230
八幡台	大貫 房雄	70
利根ニュータウン	讃岐 晴雄	95

文間地区

奥山	大野 力夫	26
押戸	杉山 武司	123
大房	大野勝一郎	137
立木	角田 賢	148

東文間地区

羽中	羽入 孝照	72
福木	飯塚 充男	58
中谷	飯塚 秀雄	88
立崎	薄井 正義	77
加納新田	桑原 芳雄	102
惣新田	田口 重徳	59

利根町区長会長に

ひき続き 鈴木 吉氏選ばれる

地域住民の福祉のために、町当局と各部落との重要なパイプの役割を果たして下さっておられる区長さんがたの総会が、六月十三日役場の会議室で開かれました。

その結果、五十四年度の区長会長に布川台の鈴木 吉氏がひき続き選ばれ、その他の役員も後記のとおり決まりましたのでご紹介いたします。区長さんがたの日頃のご苦労に対し、厚くお礼を申し上げます。

区長会新役員(敬称略)  
 会長 鈴木 吉  
 副会長 大野勝一郎  
 薄井 正義  
 木村 松平  
 矢口 寿男  
 五十嵐一郎

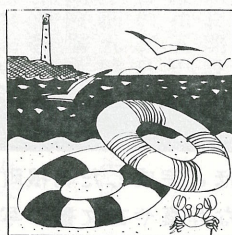
監事 羽入 孝照  
 角田 賢  
 顧問 町長 鈴木 嘉昌  
 議長 佐々木民三

ご存じですか

八月は福祉年金

証書の提出を

毎年八月は福祉年金証書の提出月です。福祉年金は、一定の額以上の所得があつたり、他の年金を受けていたりすると、支給を停止されることがあります。この調査のため、毎年一回「所得状況届け」を提出してもらい、あわせて、他に恩給や年金を受けている方は申し出てもらうことになっています。



この手続きをすることによって、八月から向こう一年間の福祉年金が受けられるかどうかがきまります。もし福祉年金証書の提出が遅れますと十一月支給分の年金が受けられないことにもなりかねません。

八月分(八月十一日から)の福祉年金を受け取ってすぐに、証書を役場年金係へ提出して下さい。

もし、年金に関しわからないことがあつた時は、年金係へ来て下さい。

昔から糖尿病の多い家系や人種のあることが知られておりますが、遺伝のしかたについては現在もよく分かっておりません。弘前大学の後藤由夫教授の調査では、親に糖尿病の無い人からの発病が二パーセントなのに対して、片親が糖尿病の時は一〇パーセント、両親が糖尿病の時は二六パーセントに見られたといわれます。しかし、このことは両親が糖尿病でも、発病しない人が七四パーセントもいるということなのです。

戦中戦後の食糧事情の悪かった時に少なかった糖尿病が、食糧事情の好転とともに急増していることは、糖尿病が体質だけで起こらないことと、食生活と深い関係にあることを示すものと思われまます。糖尿病になりやすい体質の特徴は、膵臓からのインスリン分泌が普通の人と違い、糖分を取っても急速にインスリンの分泌がふえないために、いつまでも血糖の高い状態が続きます。インスリンの分泌だけでなく成長ホルモンの分

# 健康教室 糖尿病と体質

泌にも異常が認められています。糖尿病の婦人が四キログラム以上の大きな赤ちゃんを生むことが多いのも一つの特徴です。糖尿病の人は体質的に太り易く、八〇パーセントの人が肥り過ぎの経験を持つといわれます。昔から言われているように美食家の傾向があり、脂っこい物を好み、しかも過食の傾向にあることが証明されています。体質は変えられないまでも過食と脂肪のとりすぎに注意して、糖尿病の発病を防ぎましょう。

(取手市医師会健康教室)

☆ ☆ ☆



## 赤ちゃん紹介

早弥香(さやか)ちゃん 1年1か月

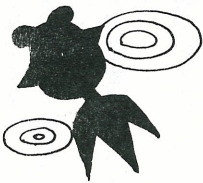
利根町大字布川1443番地の1

石川 延三郎さん 長女  
初 恵

お父さんと散歩するのが好きです。  
お父さんが仕事にでかけるときあとをおってこまります。

## とね俳句会 (六月十六日)

法筵のしだれ白樺薄暑かな  
花菖蒲眺め聞こゆる鐘の音  
由緒ある寺と聞きたり花菖蒲  
吟行のバス心地よき梅雨はれ間  
本土寺のそぞろ歩きや花菖蒲  
紫陽花や一句なさむと寺めぐり  
紫陽花や大願成就の僧ひとり  
感嘆の声流れ来る花菖蒲  
廻廊の塵もとどめず花菖蒲  
本土寺やあぢさゐで呼ぶ善男女  
寺訪へば椅子向けてあり花菖蒲  
一瞬の陽ざしあぢさゐに交はす笑み  
紫陽花に光のシャワーふりそぞろ  
風出でて菖蒲かすかに揺れ動く  
宝蔵の紫陽花見下すあでやかさ  
皮落ちて屋根より高く今年竹  
紫陽花の園に囲まる家族連れ  
木漏れ日に紫陽花色を濃く薄く  
紫陽花や人多かりし寺の園  
あぢさゐの御仏前に合掌す  
紫陽花寺一茶の足跡偲びつつ  
しょうぶ田の水浅けれど影うつす  
あやめ咲く今日よき日にめぐまれて



短歌：加納新田 落合 よし

勝れたることのひとつもなき  
ままに今日田の面に肥料まきをり

田の草に追はるる一日浅間様  
の孫の晴着を買って楽しむ

- 五十嵐 英子
- 白井 ゆき
- 香取 照子
- 佐良土 房子
- 多田 芳子
- 小松 みよ
- 山田 幸夫
- 吉田 和子
- 海老原 和子
- 白井 勇太郎
- 羽入 つる
- 足立 水石
- 高橋 直
- 杉山 たけお
- 中川 やす
- 海老原 甚三郎
- 下村 慶子
- 黒沢 邦子
- 永井 のぶ
- 坂本 なを
- 三谷 てるを
- 大津 蒼崖
- 大津 きく女

